

現代中国語における動量詞"度"について：統語、意味、語用、三つの側面からの考察

著者	浅野 雅樹
雑誌名	中国文化：研究と教育
巻	63
ページ	(37) - (48)
発行年	2005-06-25
URL	http://doi.org/10.15068/00150592

現代中国語における動量詞“度”について

—統語、意味、語用、三つの側面からの考察—

浅 野 雅 樹

1 はじめに

本稿で取り上げる動量詞の“度”は、以下の辞書における釈義にあるように意味的には同じ動量詞の“次”に近い。

＜辞書における“度”に関する記述＞

- ・『現代汉语词典 2002 年増補本』

⑫量词，次，再～声明\一年一～\这个剧曾两～公演

- ・『現代汉语量词用法词典』

二，动量词。相当于“次”“回”：一度想开了\两度公演\一年一度\我们再度声明，这个决定是不公正的。几度风雨，几度春秋，他已成长为出色的公安干警了。几度回首依依送别的亲人，泪水潸然而下。

ただこの“度”は、用法上“次”などの動量詞とは異なる。「数詞＋動量詞」の数量フレーズは、“看了三次”“去过两回”というように動詞の後に置かれ、補語として用いられるのが一般的である。しかし「数詞＋“度”」は動詞の後で補語となることはなく、述語動詞の前、つまり「数詞＋“度”＋動詞」というように状語として用いられるという特徴がある。これまで動量詞と言えば、“次”、“回”、“趟”、“番”、“下”、“把”などがよく考察の対象とされた。しかし、この“度”という動量詞に関しては用法上このような注目に値する性質を持つにもかかわらず、これまであまり考察の対象とされてこなかった。

本稿ではこの動量詞の“度”について統語、意味、語用の三つの側面から考察を行う。なお、本稿では数詞の“一”と“度”が結びついた“一度”というフレーズに関しては考察の対象外とする。“一度”には回数を示す「一回、一度」という意味と、さらに一つの単語として「一時的に、かつて」という副詞と見なされるが、実際収集した用例を考察するとどちらの意味

でも解釈できる例が数多く見られる。また「一」＋動量詞が、単に「一回」という回数を示す場合、動詞の前の状語の位置に置かれることはないという指摘⁽¹⁾もあり、そうすると“一度”には「一回、一度」いう意味で使われることがないということになる。このようなことから本稿では数詞が2以上の例や“几”の例を考察の対象とする。

2 統語論的考察

2.1 「数詞＋“度”」の文法機能

(1). 1981年、1997年，他又先后因《年度最佳女人》和《泰坦尼克号》剧本，两度捧得托尼奖。＜文＞

(2). 不幸创意两度遭到剽窃，并被剽窃者卖了200万。＜北日＞

(3). 短短半个月里，中共中央总书记胡锦涛三度深入抗击“非典”第一线。

＜文＞

1 はじめに、でも述べたが、(1) から (3) における例のように、“度”は「数詞＋“度”＋動詞」の語順で、“度”を含む数量フレーズが、文中で状語となることが多い。同じ動作行為の回数を示す“次”、“回”などの動量詞は、「動詞＋数詞＋動量詞」という語順で主に動詞の後ろに用いられ動補構造を構成する。つまり補語として用いられるのが一般的であるが、これらの例からもうかがえるように、“度”に関しては文中で補語として用いられている例はこの度筆者が収集した用例の中には見られなかった。この点は一般的な動量詞と異なる“度”の統語上の重要な特徴であると言うことができる。

2.2 「数詞＋“度”」と結びつく動詞について

“度”と結びつく動詞にはどのような特徴が見られるのであろうか。このことについて考察を行うといくつかの点が指摘できる。まず一点目は、前の(1)～(3)、及び本稿で示す他の例からもうかがえるが、二音節の動詞が圧倒的に多いということが言える。一部、単音節の“获”、“遇”などの動詞と結びついている例も見受けられるが、「数詞＋“度”＋動詞」における動詞は二音節の動詞が主であるということを統語上の一つの特徴と言える。

また以下の(4)～(6)のように動詞に補語が伴われている例がいくつか見られる。

(4). 他已经随着阿贾克斯与皇马两度捧起冠军杯，＜新＞

(5). 四度穿上黄色领骑衫的王国章一度让实力颇强的意大利队感到颜面无光。

＜文＞

(6). 两天之内，美国传媒巨头两度传出高层动荡消息。＜新＞

ただ例のように、補語は方向補語の派生義を示す例に限られ、実義的で意味指向を持つ補語の例はほとんど見られない。殷 1999 では、「数詞+動量詞」が状語の位置にある時は動詞に補語がつく場合が多いと指摘されている。そしてこれに関する文法的意味として、動詞の後の補語で示される状態や結果に至るまでの過程を示すものであるということが述べられている。ただ、「数詞+“度”」に関しては動詞が補語と結びついている例、特に実義的な補語は極めて稀であり、さらに数の上では補語を伴っていない例が圧倒的多数であることから、この殷 1999 で言われるようなことは認められないということが指摘できる。

さらに動詞と関わることをもう一点述べる。「数詞+“度”+動詞」における動詞の後に“了”、“着”、“过”のアスペクト助詞がついている例は非常に少なく、たとえ完了済みの動作を示す場合であっても“了”がつけられていない例が多く見られる。以下の(7)(8)のように一部“了”や“过”がつけられている例も見られるが、この度収集した用例で統計をとると、アスペクト助詞が付いていたものは2.5%にすぎなかった⁽²⁾。

(7). 为北京现代队牵头的是两度执教过北京队的彼德。〈北晚〉

(8). 记者特地两度采访了国家科技部副部长、中科院院士、物理有机化学家程津培。〈文〉

2.3 副詞“曾(曾经)”と共起する例

(9). 他曾两度参加中国艺术博览会, 作品《心中的花》、《白桦林》、《水乡印记》等被海外画廊收藏。〈新〉

(10). 在郭沫若诸多著作中,《十批判书》曾几度成为关注的焦点, 在对其评价问题上, 还曾出现过争议; 〈北日〉

(11). 今天下午两点, 曾经两度作为中国原告代表团律师的苏向祥先生将飞赴齐齐哈尔, 看望受害者并随时准备提供帮助。〈北晚〉

(9)~(11)のように“度”が用いられた文においてはその前に副詞の“曾”或いは“曾经”がある例が多く見られる。ただ一般的に“曾(经)”はアスペクト助詞の“过”とともに使われることが多いが、「数詞+“度”」がある場合は、“过”が動詞の後に付いていない例が多い。

2.4 いくつかの構文における例

最後に、どういう構文において用いられているかという点について、いくつか例を提示する。

・介詞フレーズとの共起

(12). 这部传世名作曾五度被改编成电影，嘉宝和费雯丽都曾出演过这位悲剧女主角的形象。＜文＞

(13). 他们分别在第 64 分钟和第 78 分钟两度被对手追平，最终只能接受平局的结果。＜北晚＞

(14). 国会在 1914 年被袁世凯、1917 年被黎元洪两度解散后，到这时又第三次恢复。＜文＞

(15). 上轮比赛中，卡恩把手的拜仁慕尼黑大门，被勒沃库森三度洞穿，而他在过去 6 场比赛中，累计的失球数已达到了 10 个。＜新＞

(16). 这时你才发现原来音乐竟然是有颜色和影像的，而拉腊也在观众有节奏的掌声中两度返场。＜北日＞

(17). 我曾两度在姚依林领导下工作。＜北日＞

まず介詞フレーズとともに用いられている一部の例として、(12)～(15)は受け身の“被”と共起している例である。(12)(13)は「数詞＋“度”」の数量フレーズが“被”の前に置かれている例。(14)(15)は逆に“被”の介詞フレーズの後に置かれている例である。「数詞＋“度”」はこのように“被”構文において使われている例が比較的多く見られる。この点は次節で述べる意味論の範疇と関係することでもあるが、「数詞＋“度”」が用いられた文で動作の受け手や対象を示す語句が動詞の前に置かれている場合、“被”が使われることが多い。受け手や対象を示す語句、回数を示す「数詞＋“度”」、さらにある文では動作者を示す語句があると、これらがすべて述語動詞の前になることになり、意味関係を明確にするために、よく“被”が用いられると考えられる。

(16)(17)は介詞“在”と共起している例である。「数詞＋“度”」は介詞フレーズの前後どちらでも(16は後、17は前)位置づけられるということがわかる。

その他以下の(18)～(23)は連動文における例、兼語文における例、目的語の部分が長い文における例である。

・連動文における使用例

(18). 2000 年至 2001 年，我又两度去美国探亲。＜北晚＞

(19). 他曾经两度来上海演出。＜文＞

・兼語文における使用例

(20). 早些时候的柬埔寨、南也门等战火也曾几度迫使我们的外交官冒着枪林弹雨大撤离。＜北日＞

(21). 結果, 深感整体实力不如对手的彼得用速度与科萨的整体战术掰手腕, 两度让科萨陷入被动。<北晚>

・目的語が長い文における使用例

(22). 记者两度走访了位于慈溪市庵东镇的宁波杭州湾跨海大桥建设工程工地, 留下最深印象的是老百姓。<新>

(23). 此外, 他们还三度赢得ARIA 音乐颁奖礼中的澳大利亚最佳儿歌唱片奖项, 并三度赢取ARIA 颁奖礼的最佳儿歌创作奖。<新>

3 意味論の考察

3.1 “度”に関する意味と褒貶義

“度”は前に数詞が置かれ「数詞+“度”」の形で反復性のある動作行為の回数を示す。1はじめに、における各辞書の釈義にあるように、同じ動量詞の“次”や“回”の意味に近いという解釈ができる。動量詞の中の専用動量詞と呼ばれる類は、さらに主に意味の面から、以下に示すように“计数量词”、“持续量词”、“整体量词”、“空间量词”の四つの類に分けられる⁽³⁾。“度”は最初の“计数量词”の類に属すると考えられる。

専用動量詞: 计数量词 (“次”、“回”、“度”)、持续量词 (“番”、“通”、“气”)、整体量词 (“遍”、“顿”、“场”)、空间量词 (“趟”、“场”)

さらにもう一点、同じ動量詞の中でも、例えば好ましい、肯定的な意味を表す“番”と好ましくない、否定的な意味を表す“通”といった褒義と貶義の区別が認められる。つまり、例えば“深入地研究了一番”とは言えても、“深入地研究了一通”とは言いにくい、逆に“挑剔了一通”とは言えても、“挑剔了一番”は成り立ちにくいということがある⁽⁴⁾。そこで“度”についても、このような傾向があるかどうかということ調べたが、“度”は以下に示すようにどちらの意味でも使われ、また中性的な意味で使われる例も数多く見られる。したがって動量詞“度”には同じ動量詞の“番”と“通”の間に見られるような褒義、貶義の区別はないと言える。

褒義: 两度夺冠 \ 两度取得领先优势 \ 两度打入决赛 \ 两度被评为市劳模

貶義: 两度遭到剽窃 \ 两度沦陷 \ 三度失败 \ 两度尝试自杀 \ 几度遭遇危机

3.2 意味特徴

ここでは、“度”に関する意味特徴について考える。

・[+稀少的] [一日常的]

(24). 乐团曾于1995年和1997年两度获得欧洲音乐节的艺术大奖。<北晚>

(25). 去年, 胡耀宇七段曾两度战胜“世界围棋第一人”李昌镐九段, 震动世界棋坛。<新>

(24) の例文のヨーロッパの音楽祭の芸術大賞の獲得、(25) 碁の世界の李九段に勝利したという例から、及びその他の例からもうかがえるが、“度”で数えられる動作行為は日常的に行われるものではない。主に極めて稀である動作、なし得がたい動作の回数を数えるときに使われる動量詞であるというように判断できる。

[+稀少的] [+厳肅的]

(26). 印度领导人与中国国家主席胡锦涛在最近一个月中三度见面并会谈,
<文>

(27). 就在这几年之间, 他多次换党, 两度担任首都维尔纽斯市市长。<新>

(28). 5月13日和17日, 共产国际执委会主席团两度开会, 对草案进行讨论, 一致通过将这个草案作为决议的基础。<文>

またさらに別の角度から意味特徴を抽出してみると、(26) 指導者と国家主席が三度会い、会談した、(27) 二度首都の市長を務める、(28) コミンテルン主席団が二度会議を開くといった例から、動量詞“度”で数えられる動作には、「厳肅的」という意味の特徴があると認めることができる。逆に気軽に行える日常的な動作行為の回数を数えるケースには適さないものと言える。ただすべての例に関してこの意味の特徴が認められるわけではない。この「数詞+“度”」の数量フレーズは後でも述べるが、スポーツに関する記事によく出てくる。以下の(29)や(13)の例のようにスポーツのゲーム展開を示すような例に関しては「稀少的」とか「厳肅的」という意味の特徴はあてはまらないことが多い。

例外：スポーツのゲーム展開に関する記事における使用例

(29). 埃弗顿队在两度落后的情况下, 主场2比2战平纽卡斯尔联队, 此战双方各有1人被罚下场, 共罚进3个点球。<新>

(13). 他们分别在第64分钟和第78分钟两度被对手追平, 最终只能接受平局的结果。<北晩>

3.3 時点を示す時間名詞との共起

(30). 郑先生的体温在4月8日和13日曾两度超过39度, 到21日却已回落至36.6度; <文>

(31). 我们曾在1979年、1981年、1986年及2001年四度打入世界冰球B组锦标赛。
<北晩>

(32). 他在 1890 — 1903 年和 1908 — 1909 年两度出任中国驻美公使。＜文＞
 (30) ～ (32) の例はすべて「数詞＋“度”」の前に動作がいつ行われたかということを示す語句があるが、このような例は比較的多く見受けられる。このことは、次の語用論的なこととも少し関わりがあるが、“度”を含む文が単に動作行為が何回行われたかということを示すだけのものではなく、いつといつの何回行われたかということを示す傾向にあると言える。よって「数＋“度”＋動詞句」が具体的な特定の動作行為を指すことが多いということ“度”に関する一つの意味的な特徴として認められると考える。

3. 4 序数と頻度

(33). 这是《明春曲》继前两次在北京的成功演出之后第三度在京城舞台亮相。
 ＜北晚＞

(34). 今年已经是该机构第四度组织这一活动。＜文＞

(35). 恒生电脑每年举办一年两度的“亲情服务月”活动，主要是为了帮助用户解决潜在问题。＜北晚＞

(36). 每年两度的芥川、直木两大新人奖最终评选每次都在该店举行。＜文＞

動作の回数を表す“度”の中に、やや特殊な意味を持つものとして、序数を示す例と頻度を示す例が見られる。(33) と (34) は前に“第”が置かれていて、それぞれ「三度目」、「四度目」という序数を示している。(35) と (36) の例は、一定の期間における動作の回数を示す表現である。例のように「一年に二度」「毎年二度」などのような頻度を示す例も数多く見られる。

4 語用論的考察

4. 1 使用状況（用例数）

	两度	三度	几度
新聞（北京日报电子版 2003 年）	19	7	21
新聞（新民晚报电子版 2003 年）	212	54	46
文学作品（小説、散文）（約 200 万字） （老舍、余华、王朔、巴金、朱自清） ⁽⁵⁾	0	0	0
当代北京口语语料（約 50 万字）	0	0	0

“度”がどのような使用環境で、またどのような文体でよく使用されている

るかということを明らかにするために、新聞、文学作品及び口語資料を調査した。上図に示すように非常に顕著な結果が見受けられた。調査の結果“度”は、新聞記事においてのみ用例が見られた。またそれらの用例をさらに観察すると、叙事文において多く使用され、発話者の主観が入る判断文、あるいは描写的な文にはほとんど使われておらず、典型的な書面語であるという認識ができる。また同じ動作行為の回数を示す「数詞＋“次”」は“几次”で「何回」という疑問の意味で使われる例（“你去过几次中国？”など）が見られるが、“度”に関しては、回数を問う疑問文で使用されている例は見られなかった。

4. 2 文脈的意味

次に、文全体の意味内容、前後の文脈を考慮して、あるいは背景にある意味などを含めて、「数詞＋“度”」がどのような意味を示しているのかということを考察すると、以下の2つのことが言える。

・経歴、賞与、歴史的な出来事、記録などを示す。

(37). 62 岁的蒋兴权曾两度执教中国男篮。＜新＞

(38). 77 岁的方美秀曾两度被评为市劳模，现患有多种慢性疾病。＜文＞

(39). 始建于唐代，宋仁宗庆历年间重建，后又曾两度修葺，是国务院公布的国家级文物保护单位。＜文＞

(1). 1981 年、1997 年，他又先后因《年度最佳女人》和《泰坦尼克号》剧本，两度捧得托尼奖。＜文＞

(14). 国会 在 1914 年被袁世凯、1917 年被黎元洪两度解散后，到这时又第三次恢复。＜文＞

(25). 去年，胡耀宇七段曾两度战胜“世界围棋第一人”李昌镐九段，震动世界棋坛。＜新＞

(31). 我们曾在 1979 年、1981 年、1986 年及 2001 年四度打入世界冰球 B 组锦标赛。＜北晚＞

行われた動作行為の回数に関して、「経歴、賞与、歴史的な出来事、記録」といった意味が認められる例が多い。例えば、上に示した (37) は経歴、(38) は賞与、(39) は歴史的な出来事、(1) は賞与、(14) 歴史的な出来事、(25) (31) は記録を示しているというように理解できる。これ以外の例についても、このような文脈的な意味を持つものが比較的が多い。前節で述べた意味特徴の部分とも関係することであるが、“度”で数えられる動作行為の回数というのは、何らかの特別な意義がある、達成するのに困難な動作行為に関する回数を示す時に使われていることがうかがえる。したがって同じ動作行為の

回数を示す例でも、以下の(40)のように、日常的に行われる、多くの人に経験があるような単純な動作について言われるケースでは、“度”は使用されないことが考えられる。

(40). 老年人更要注意选用合适牙刷, 采用正确刷牙方法, 每日至少两次刷牙。

<新>

・過去の一時的な状況、状態を示す。

(41). 台“国防部长”汤曜明二度请辞, 但经全力慰留, 最后汤曜明本人同意留任。<新>

(29). 埃弗顿队在二度落后的情况下, 主场2比2战平纽卡斯尔联队, 此战双方各有1人被罚下场, 共罚进3个点球。<新>

(30). 郑先生的体温在4月8日和13日曾二度超过39度, 到21日却已回落至36.6度; <文>

次にもう一点認められることは、上の文における例のように、過去の一時的な状態、状況を示す例が見られる。これらは前後の文脈から、主に「数詞＋“度”」の後の部分からであるが、発話時点もしくは文において現在時とされる参照時点では「数詞＋“度”＋動詞句」で示される状況にはない、あるいはその動作が行われていないということがうかがえる。例えば上の(41)の例については「国防大臣が二度辞意を申し出た」という部分があるが、その“但”の後の内容から、発言時点ではそういう状況にないということがわかる。(29)は「途中二度リードされたが最後は2対2の同点である」という例。また(30)の例についても、「二度体温は三十九度を超えた」とあるが、文の後の部分の内容から、この状態は過去に発生したことであり、発言時点では回復していてそういう状態ではないということがわかる。

4.3 スポーツに関連する記事における例

前述したように「数詞＋“度”」はスポーツに関する記事によく使われている。

(42). 埃弗顿队在二度落后的情况下, 主场2比2战平纽卡斯尔联队, 此战双方各有1人被罚下场, 共罚进3个点球。<新>

(43). 比分三度领先, 又三度被追平, 昨晚的男单决战, 对王皓来说是如此艰难, 但他最终战胜了对手, 也战胜了自己, 赢得了他乒乓生涯中第一个世界大赛的冠军。<新>

(15). 上轮比赛中, 卡恩把手的拜仁慕尼黑大门, 被勒沃库森三度洞穿, 而他在过去6场比赛中, 累计的失球数已达到了10个。<新>

(42)(43)(15)はスポーツに関する記事における例であるが、これらはゲー

ムの展開や記録などを示しているものと言える。例文にある、“在兩度落后的情況下”、“～度領先”、“～度被追平”、“～度洞穿”などの形式は非常によく見られる。

4. 4 後続するフレーズや文について

「数+“次”」が状語として用いられる場合は、その文の後ろに、さらにフレーズや文が続くのが一般的であるという指摘がある。杉村 1994 では「数詞+“次”」が状語の位置に現れるときは「言い切りにならずにまだ文が続く」といった条件が必要である」という指摘がされている。ただ「数詞+“度”」が状語として用いられているときの例を見ると、確かに、後ろに文が後続して何らかの内容が付け加えられている例が多く見られるが、一方以下の(3)(6)(16)(18)のように「数詞+“度”」の後の述語の部分で言い切りになっている例も少なくない。したがって「数詞+“度”」が状語となる場合に関しては、後ろにさらに文やフレーズを後続させるということは、その使用の条件として見なすまでには至らないと判断できる。

(3). 短短半个月里，中共中央总书记胡锦涛三度深入抗击“非典”第一线。
<文>

(6). 两天之内，美国传媒巨头两度传出高层动荡消息。<新>

(16). 这时你才发现原来音乐竟然是有颜色和影像的，而拉腊也在观众有节奏的掌声中两度返场。<北日>

(18). 2000 年至 2001 年，我又两度去美国探亲。<北晚>

5 おわりに

以上、動量詞“度”について三つの側面から考察を行った。2 統語論的考察、で示したように一般の動量詞とは異なり、「数詞+“度”」は動詞の前に置かれ状語の機能を果たするのが主な用法である。“次”や“回”またはそのほかの動量詞のように動詞の後におかれ、補語の機能を担う例が見られないという点、用法上非常に特殊な動量詞として認識することができる。陳 2003 では、宋代の言語では「数詞+“度”」は状語として用いられる例が主流ではあるものの、動詞の後ろで補語となる使用例も少なからず見られるという指摘がある。なぜ動詞の前の主に状語の位置にしか使えないのかということを見出すには、このような通時的観点を含めいろいろな角度からの考察が必要になるであろうと思われる。

また「数詞+動量詞」が、どういう条件で動詞の前に置かれ、主に状語の機

能を果たすのかという問題があるが、これについてはすでに数多くの先行研究があり、統語的或いは意味的な点がいくつか指摘されている。ただ、これらの研究で考察の対象となっているのは、主に「数詞＋“次”」であり、専ら動詞の前に置かれ主に状語の機能を果たす“度”に関しては、ほとんど考察の対象とはなっていない。“度”に関する用法上の特徴や意味的な特徴を細かく調べることによって、「数詞＋動量詞」がどのようなケースで動詞の前に置かれるのかということがさらに詳細に、また的確に見えてくるものと考えられる。

これら二点の問題については稿を改めて論じたい。

注

(1) 殷 1999、李 1998 を参照。

(2) この数字は、4.1 の表における用例数を統計の範囲にしたものである。

(3) 邵 2000、牟 2002 を参照。

(4) 何 2001 を参照。

(5) 老舍《四世同堂》、余光《活着》、王朔《王朔文集纯情篇》、巴金《家》、朱自清《朱自清散文选集》を用いた。

【主要参考文献】

范晓 2003『语法理论纲要』上海译文出版社

范晓 1996『三个平面的语法观』北京语言学院出版社

郭先珍 2002『现代汉语量词用法词典』语文出版社

何杰 2001『现代汉语量词研究(修订版)』民族出版社

刘街生 2003「现代汉语动量词的语义特征分析」『语言研究第2期』

刘月华等 2001『实用现代汉语语法(增订本)』商务印书馆

李晓蓉 1995「浅义动量短语的前置现象」『汉语学习第2期』

李宇明 1998「“一量VP”的语法、语义特点」『语言教学与研究第3期』

陆俭明 1988「现代汉语中数量词的作用」『语法研究和探索(4)』商务印书馆

牟云峰 2002『谓语动词后的数量补语及其教学』北京师范大学汉语文化学院硕士论文

邵敬敏 2000『汉语语法的立体研究』「动量词的语义分析及其与动词的选择关系」商务印书馆

殷志平 1999「动量词前置特点论略」『语法研究和探索(9)』商务印书馆

陳 穎 2003『蘇軾作品量詞研究』巴蜀書店

金谷順子 1995「<数詞＋動量詞“次”>が状語になる場合についての一考察」『中国文化53』

- 白銀志栄 2002「動量状語 “～次” について」『神田外語大学紀要第 14 号』
- 白銀志栄 2003「動量状語 “几次” について」『神田外語大学紀要第 15 号』
- 杉村博文 1994『中国語文法教室』大修館書店
- 馬鳳如 1995「中国語と日本語の数量表現」『山口女子大学国際文化学部紀要』創刊号
- 『現代汉语词典 2002 年增补本』2002 年商务印书馆
- 『当代北京口语语料（东城区，海淀区）』1993 年 北京语言学院语言教学研究所

【用例出典】

- <北日>：北京日报电子版 2003 年
- <北晚>：北京晚报电子版 2003 年
- <新>：新民晚报电子版 2003 年
- <文>：文汇报电子版 2003 年